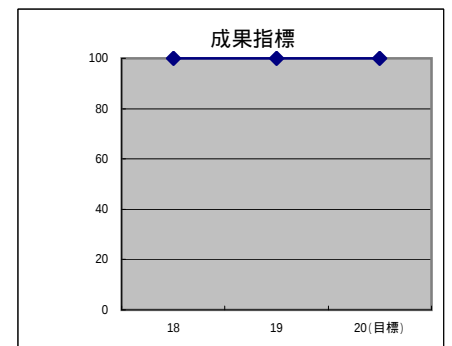
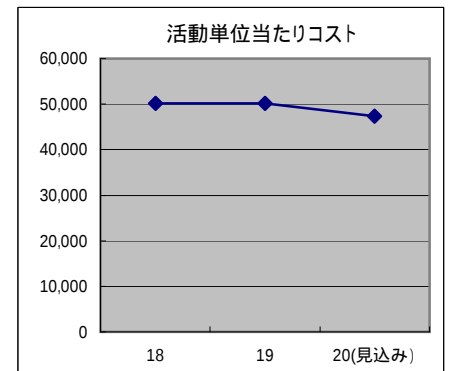


事務事業名		地域イントラネット事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	15	情報推進費	
					事業	1	情報管理	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち					
	施策(節)	3	行財政運営					
	施策の方向	(2)	情報通信技術の活用(高度情報化)と情報セキュリティの強化		作成部署	市長公室政策推進課		
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4740			
事業の目的								
対象(誰を・何を)								
羽曳野市内のすべての公共施設を結ぶネットワーク								
意図(どういう状態にしたいのか)								
業務効率化のため安定稼働させる。								
事業の内容								
本庁をはじめとし、学校を含む全ての公共施設を結ぶ情報通信ネットワークを形成する。また、ネットワーク上で使用される各種システムおよびコンピュータの安定運用のための運用管理を行う。								
根拠法令等								
事業開始時期								
☐ 昭和 ☒ 平成 15 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度								
事業開始時からの状況変化								
ネットワーク上で稼働するシステムが増加し、通信インフラとしてのニーズがより高まっている。								
市民や議会の要望								
実施手法								
☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()								
委託先								
☐ 外郭団体委託 名称 ☐ 委託内容 ネットワーク機器保守・運用支援 ☒ 民間委託								

区 分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		17,488	17,488	16,426
人件費【2】 (千円)		840	840	840
職員数	正規職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		18,328	18,328	17,266
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	18,328	18,328	17,266
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
メンテナンス作業 回数		365	365	365
セキュリティ対策作業 回数		365	365	365
活動単位当たりコスト(【A】/【B】) 円		50,214	50,214	47,304
市民1人当たりコスト(【A】/人口) 円		152	153	144



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	ネットワーク安定稼働率(%)	式) $(365 \times 24) - \text{ネットワークダウン時間} / (365 \times 24)$	ネットワークを運用している期間中に使用可能であった時間	目標	100	100	達成率(%)
				実績	100	100	100.0%
	システム安定稼働率(%)	式) $(365 \times 24) - \text{システムダウン時間} / (365 \times 24)$	システムを運用している期間中に使用可能であった時間	目標	100	100	達成率(%)
				実績	100	100	100.0%

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市の全ての公共施設を収容するネットワークであり、市全体の業務運用に必要不可欠である。
		○		○				○	○		

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い			☒	☐	☐
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない			☒	☐	☐
	社会情勢の変化に対応している			☒	☐	☐
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐
	国・府の事業と重複していない			☒	☐	☐
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい			☒	☐	☐
	緊急性が認められる			☒	☐	☐
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)			☒	☐	☐
	受益者負担の割合は適当である			☐	☐	☒
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐
	簡略化できる方法や手段がない			☒	☐	☐
	市の他事業と重複していない			☒	☐	☐
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない			☒	☐	☐
有効性	上位の施策(目的)が明確である			☒	☐	☐
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である			☒	☐	☐
	成果を向上させる余地がない			☐	☒	☐
	市民の視点にたってサービスが提供されている			☐	☐	☒
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している			☐	☐	☒
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている			☐	☐	☒
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している			☐	☐	☒
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている			☐	☐	☒
達成度	成果指標の目標値は適正である			☒	☐	☐
	成果指標の実績値は目標値以上である			☒	☐	☐
	成果指標は前年度より向上している			☒	☐	☐

担当部局評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	行政ならびに市民活動におけるネットワークへの依存度は増加の一途をたどっており、その安定稼働と機能の維持はもはや至上命題である。また、外部のネットワーク環境、特にインターネットはこのため、機能の拡張のみならず日々発生するセキュリティへの脅威についても迅速に対応する必要がある。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
担当部局評価	内部ネットワークとの整合性を図りつつ、外部ネットワークとの適合性を維持するために更新作業を継続する。	